

新造船 命名「カランセ奥尻」進水式

本日、2017 年 1 月 27 日（金曜日）11 時 20 分、内海造船株式会社（広島県尾道市）瀬戸田工場にて建造中のフェリーは、【カランセ奥尻】と命名され、無事に進水式が執り行われました。

新造船【カランセ奥尻】は、本年 5 月 1 日（月曜日）に北海道と奥尻島を結ぶ、「奥尻航路」（江差～奥尻島、せたな～奥尻島／季節運航）に就航致します。

ぜひ、【カランセ奥尻】で奥尻島へお越しください。

○「カランセ奥尻」命名・進水式



新造船【カランセ奥尻】

【カランセ奥尻】の由来

奥尻島に咲く可憐な薄紫の花、「オクシリエビネ」。

レッドリスト登録のまぼろしのラン科の植物であり、花言葉は「誠実」。

この花の学名「カランセ／*Calanthe*」より命名しました。

島の花の学名より命名した船舶は、サイプリア宗谷に続く第 2 弾です。

カランセは、ギリシャ語でカロス＝"美しい"、アントス＝"花"の 2 語から花姿に由来します。

誠実に安全に、まぼろしの花咲く美しい奥尻島へみなさまをお迎えする「カランセ奥尻」が就航します。

本船主要要目

- 総トン数 3,650 トン
- 全長 約 87m
- 定員 460 名
- 積載台数 8 トン積みトラックのみの場合 18 台
乗用車のみの場合 48 台
- 速力 約 17.5 ノット

<お問い合わせ>



営業開発本部 TEL:011-233-8010

<http://www.heartlandferry.jp>